

対象地区（県庁周辺地区）の現況

1. 施設関連

1) 地区周辺の施設立地状況

▶ 大規模な官庁施設が集積する歴史と景観及び地区周辺の閑静な住宅地

▶ 県有施設の老朽化及び県行政施設・駐車場の分散立地

特 性：対象地区は、明治期から現在に至るまで官庁施設が集積しており、歴史と趣ある景観を有しており、地区周辺は、閑静な住宅地である。

問題点：現在は、県行政施設の老朽化、施設的环境性能の低さや手狭な執務環境、県行政施設や駐車場の分散立地が問題となっている。県庁舎においては、外部に開かれた機能・空間が乏しい。



長野合同庁舎（築60年以上）

合同庁舎別館

県庁舎本館/免振改修済

議員会館（築60年以上）

■ 対象地区及び周辺の施設立地状況

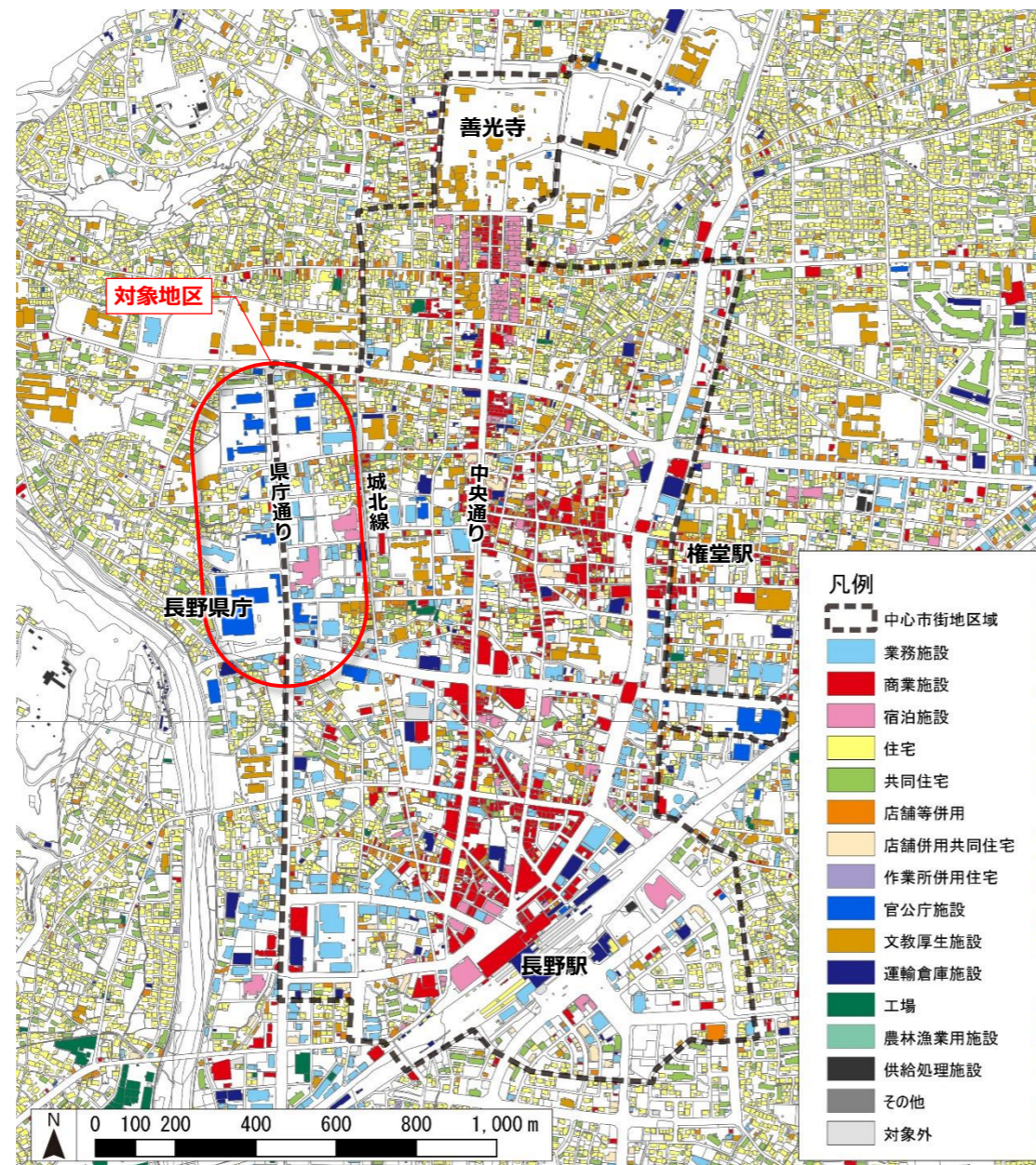
明治期より県庁通り周辺に官庁施設が立地し、現在も地区内には、県庁舎や国合同庁舎等の官庁施設が集積している。

しかし、県行政施設の老朽化、施設的环境性能の低さや執務スペースが手狭な状況が問題となっているとともに、施設が分散立地している状況である。

県庁舎においては、庁舎に使用する全ての電力を県企業局の水力発電由来の再生可能エネルギーに切り替える等の脱炭素の取組（全国初）を進めており、県の中核拠点として、更なる防災、脱炭素の取組を先導的に進めていく必要がある。

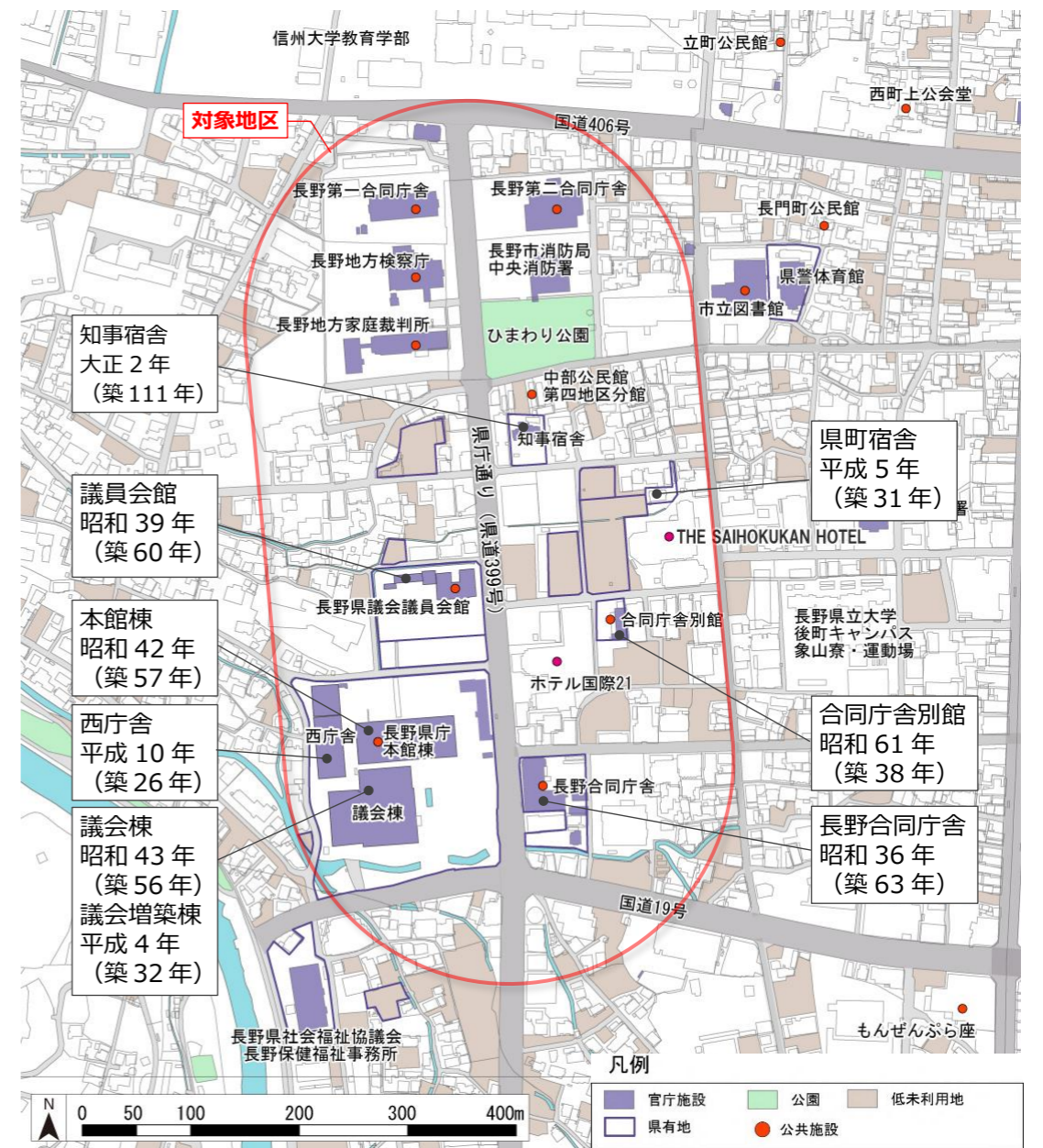
地区周辺は閑静な住宅地であり、県庁舎西側は戸建住宅が集積し、近年では城北線沿道にマンション立地も見られる。

【中心市街地の施設立地状況図】



出典：都市計画基礎調査より作成

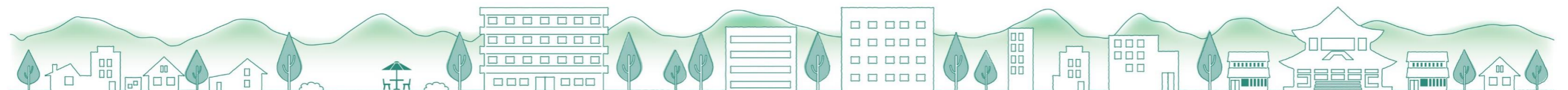
【対象地区の施設立地および官庁施設の概況図】



県庁舎西側の戸建住宅地



城北線沿道の高層新築マンション



■対象地区及び周辺の駐車場立地状況

対象地区内にある県有駐車場は、分散立地している上、職員用、来庁者用、公用車が混在し、利用者にとって不便な状況である。

また、県庁舎においては、県庁通り沿いの駐車場・駐輪場により、エントランスまでのアプローチが分かりにくい等、外部に開かれた機能や空間が乏しい状況である。

NO	施設	敷地概要		
		形態	利用者・駐車台数	敷地面積
①	妻科駐車場	自走式平面駐車場	職員用 59 台、その他 2 台	1,971.16 m ²
②	県町駐車場	自走式平面駐車場	来庁者用 29 台	711.43 m ²
③	長野合庁北第 1 駐車場	自走式平面駐車場	職員用兼来庁者用 131 台	4,325.89 m ²
④	長野合庁北第 2 駐車場	自走式平面駐車場	公用車用 78 台	2,019.06 m ²
⑤	長野合庁別館駐車場	自走式平面駐車場	公用車用 12 台	991.71 m ²
⑥	岡田駐車場	自走式平面駐車場	職員用 8 台、来庁者用 19 台、公用車用 8 台	932.74 m ²
⑦	議会第 2 駐車場	自走式平面駐車場	職員用 7 台	135.20 m ²
⑧	県庁北側駐車場	自走式平面駐車場	来庁者用 66 台	1203.18 m ²
⑨	聖徳駐車場	自走式平面駐車場	来庁者用 4 台、公用車用 14 台	1,523.00 m ²
⑩	県庁平面駐車場 ※正面玄関側、本館北側立休、議会棟南側、議会棟西側、議員会館	自走式平面駐車場	来庁者用 280 台	35,964.36 m ²

表. 県有駐車場の概要



県有駐車場／①長野県合庁北第 1 駐車場
3つの駐車場が隣接し、大規模な低未利用地となっている



県有駐車場／④長野県合庁北第 2 駐車場



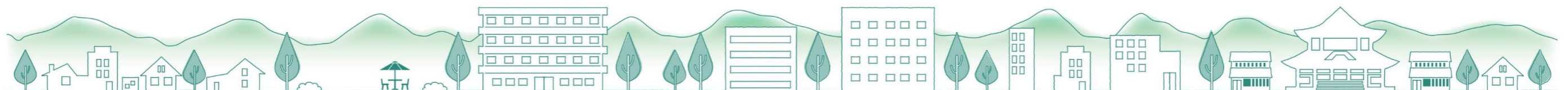
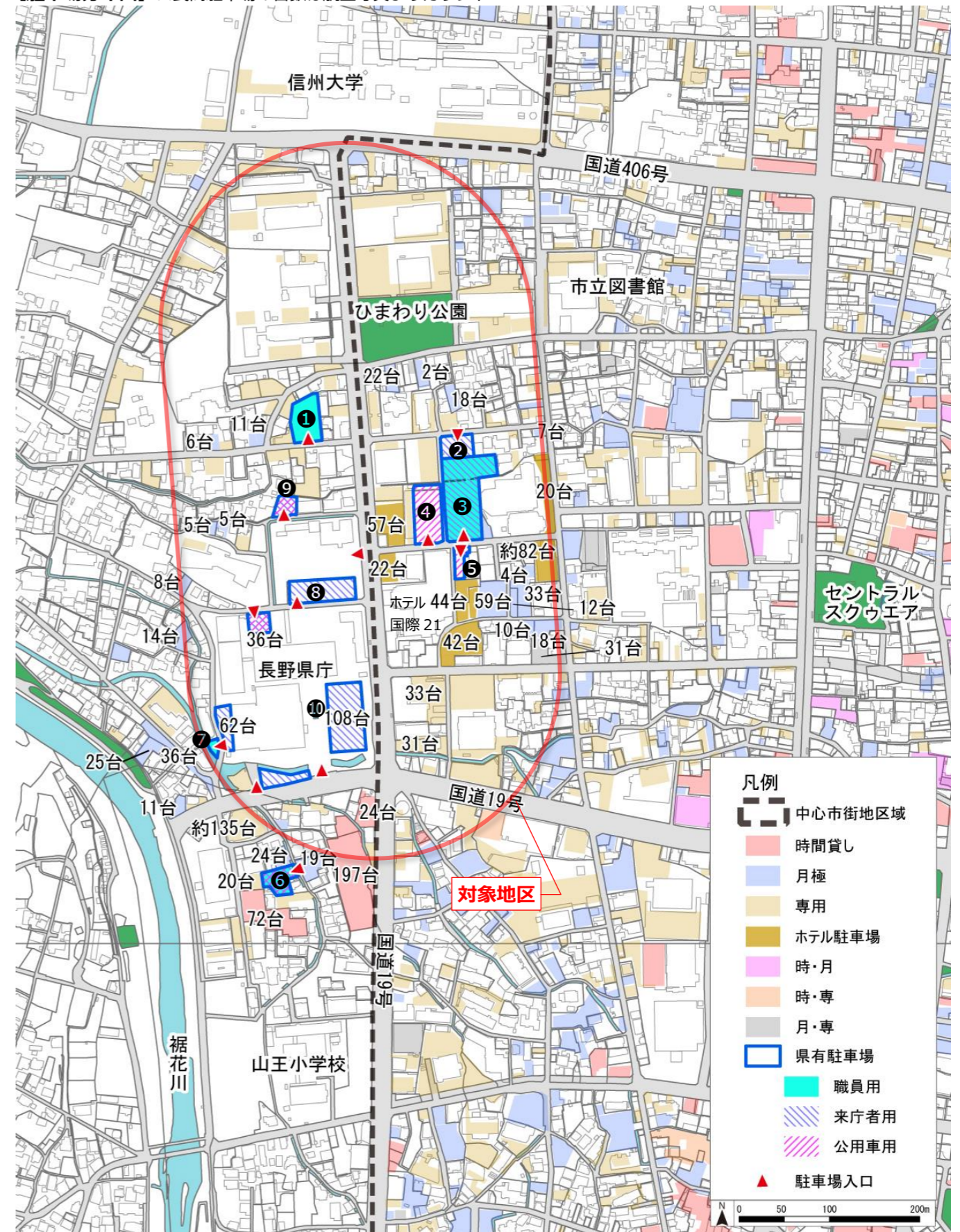
県有駐車場／②県町駐車場



県庁敷地内にある県庁平面駐車場と駐輪場
県庁通りに面して立地するため、県庁舎入口までのアプローチを分かり難くしている



【駐車場分布図】 ※民間駐車場の台数は航空写真よりカウント



2. 基盤関連

1) 公園（オープンスペース）等の状況

▶ 県庁通りの並木によるみどり・景観軸を形成、善光寺用水や大峰山・旭山の借景

▶ 滞在しやすい公園等の空間が不十分

特 性：県庁通りはプラタナス等の大型街路樹の並木により、みどりの景観軸が形成されている。また、善光寺用水や借景となる大峰山、旭山の自然景観を有する。

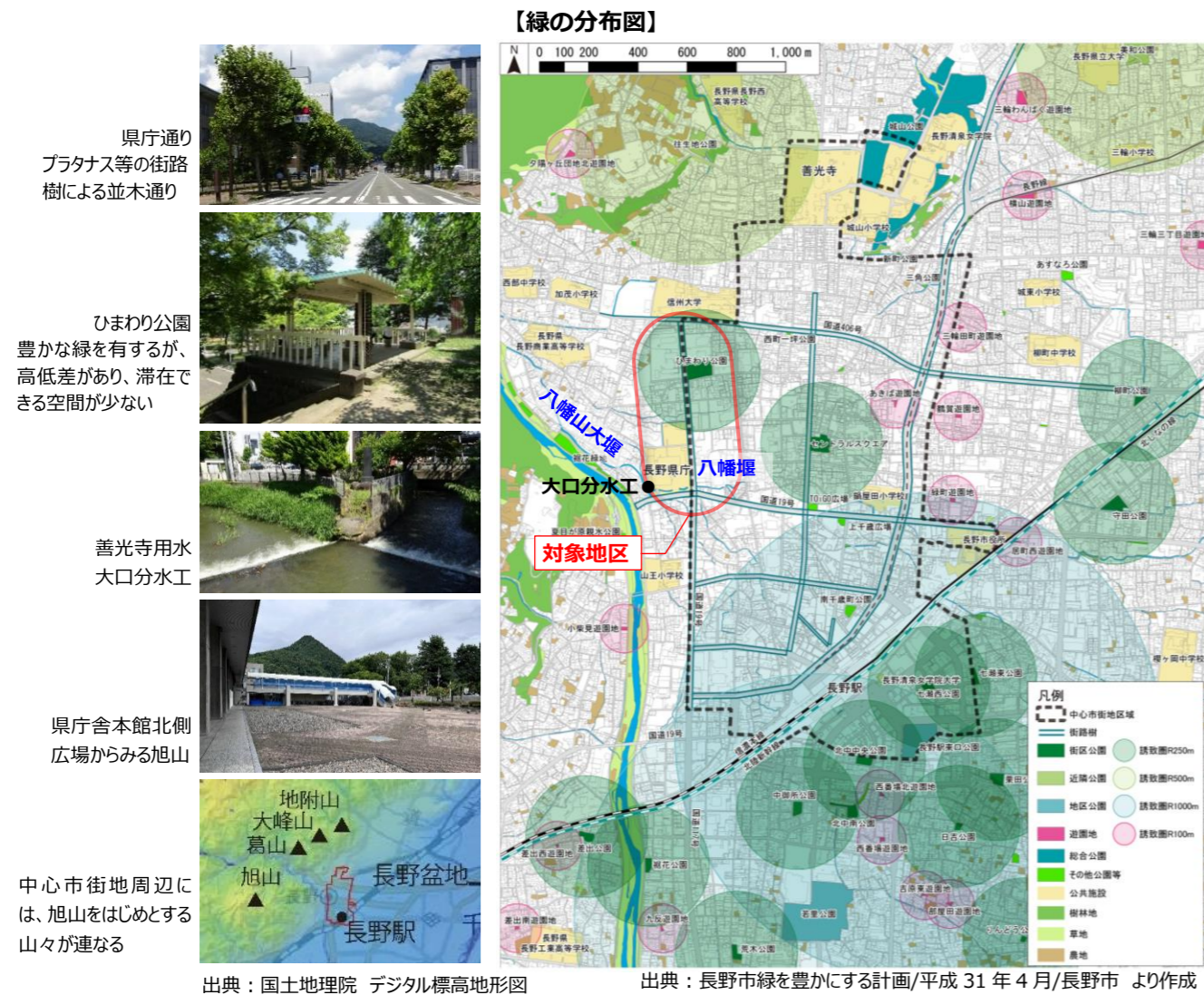
問題点：地区内には、ひまわり公園が立地しているが、誘致範囲に入らない公園不足エリアであり、滞在しやすい公園等の空間が不十分である。

■ 緑・善光寺用水の現況

中心市街地における都市公園は、「ながの表参道セントラルスクエア」が令和2年に整備され、8箇所となったが、誘致圏から外れている箇所もある。対象地区では、ひまわり公園が立地するものの、公園不足エリア内に入っている。

中心市街地の幹線道路では、ほぼ街路樹が設置されており、緑のネットワークが形成されている。特に県庁通りでは、プラタナスによる大型樹木により、みどりの景観軸が形成されている。

市街地から見渡すことができる山々は重要な景観要素であり、特に旭山、大峰山、地附山等の市街地周辺の山々は古くから地域の良好な景観を形成しているとともに、善光寺用水等の河川、水路が骨格的な景観にもなっている。県庁南側には「大口分水工」、西側には「八幡山大堰」もあり、県庁周辺には善光寺用水の歴史施設が立地している。



2) 道路の状況

▶ 県庁通りでは通勤時に歩行者等が集中し、狭隘さを感じる

特 性：中心市街地の幹線道路、補助幹線道路は、ほぼ整備が完了している。幹線道路である県庁通りは、緊急輸送道路に位置づけられている。

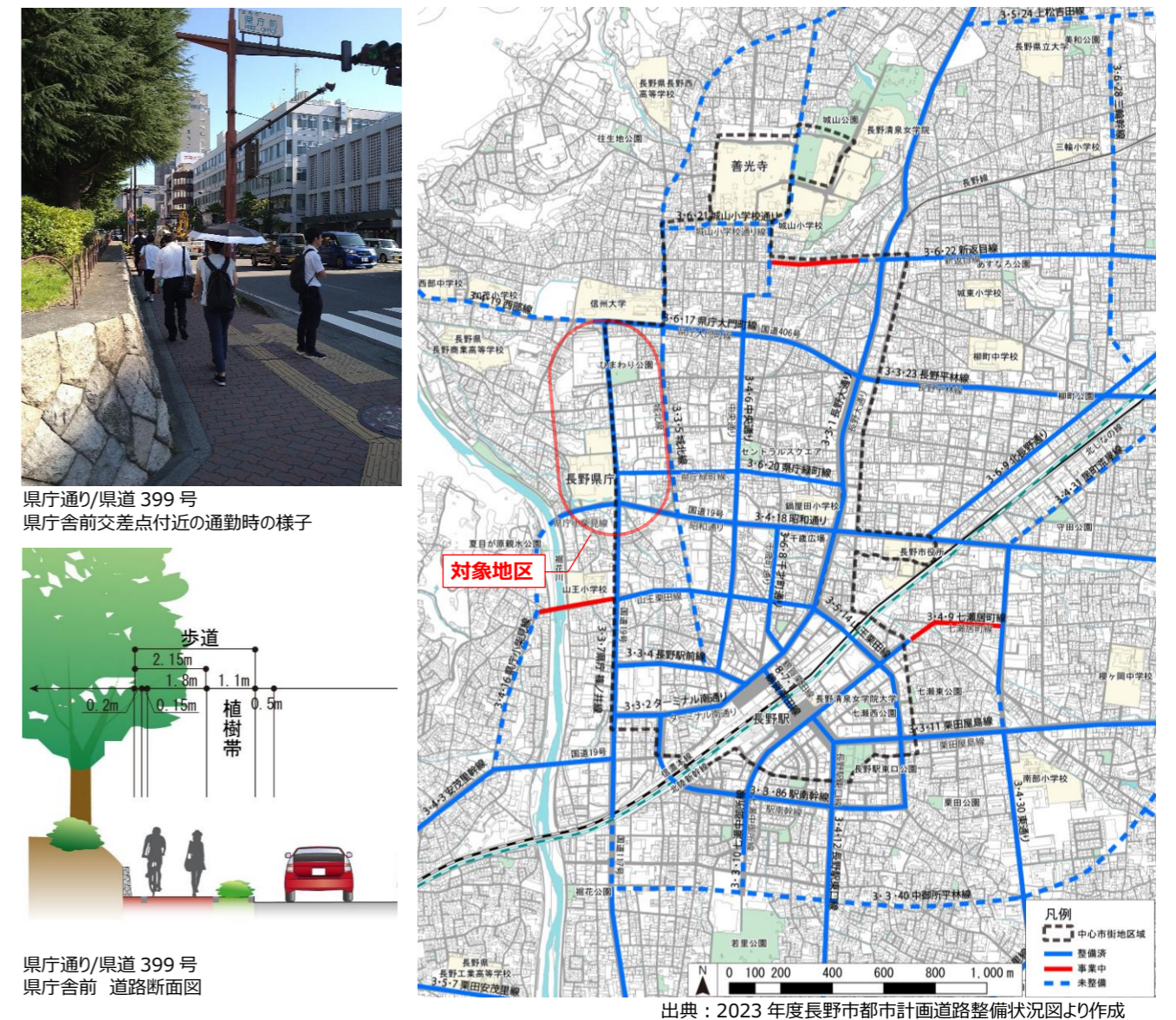
問題点：県庁通りの県庁前交差点から県庁舎入口までの区間は、特に通勤時において、歩行者や自転車が集中し、狭隘さを感じる。

■ 道路状況

中心市街地においては、交通セル方式の実現を目指して、中心市街地内の道路網の整備が行われてきており、1998年長野冬季五輪までに4車線の環状道路が完成した。県庁通りもこの環状道路の一部であり、災害時における緊急輸送道路にも位置づけられている。中心市街地の都市計画道路は、ほぼ供用されつつある。

幹線道路である県庁通りの県庁前交差点から県庁舎入口までの区間は、特に通勤時において、歩行者や自転車が集中し、狭隘さを感じる。

【都市計画道路の整備状況図】



3. 人口関連

1) 人口・人流特性

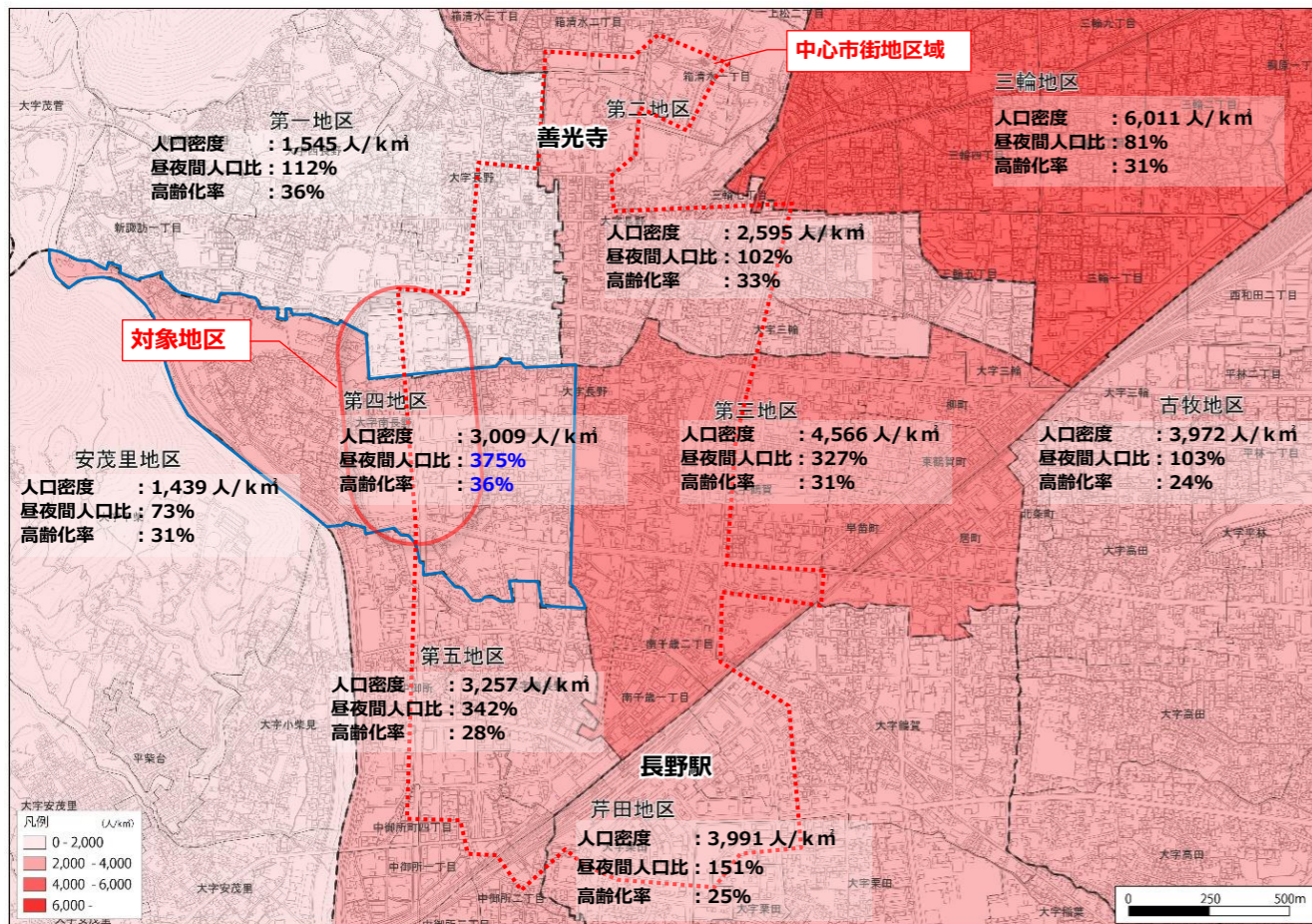
▶ 対象地区は勤務者・来街者が多く、地区周辺は居住者が多い

特性：対象地区の人口は、官庁施設や業務施設が集積していることから、勤務者・来街者が多く、地区周辺は居住者が多い。

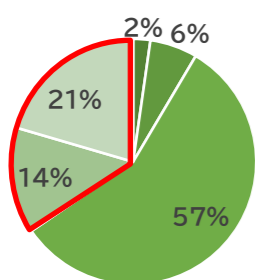
■ 人口特性

対象地区の属する第四地区は、昼夜間人口比が高いことから、居住者より勤務者が多いことが分かる。また、第四地区周辺の人口密度を他地区と比較すると、地区周辺は、居住者が多いことが分かり、人口構成の3割以上高齢者（65歳以上）が占めている。

【人口密度分布図】



【第四地区の人口推移等】



区分	合計	男	女
0~4歳	61	34	27
5~14歳	169	78	91
15~64歳	1,543	753	790
65~74歳	381	179	202
75歳以上	554	188	366

地区面積：0.9 km²

	平成26年	平成31年	令和5年
人口	2,683	2,734	2,708
人口密度	2,981.1	3,037.8	3,008.9
人口割合	0.7%	0.7%	0.7%
世帯数	1,345	1,423	1,492
世帯人口	1.99	1.92	1.82

人口増加率	H26→H31	H31→R5	H26→R5
	1.9%	-1.0%	0.9%

■ 人流特性

対象地区周辺の道路の通行量をみると、休祝日と比べると平日の徒歩利用者が多い。また、平日では県庁前の県庁通りの通行量が特に多く確認できる。県庁通りだけでなく長野駅から県庁通りまでの平日通行者が多いことから勤務者が当該道路を通行していることが分かる。県庁周辺と善光寺周辺における1日あたり平均の居住者・勤務者・来街者数をみると、県庁周辺は圧倒的に平日昼間の勤務者人口が多く、善光寺周辺はほとんどが来街者となっている。

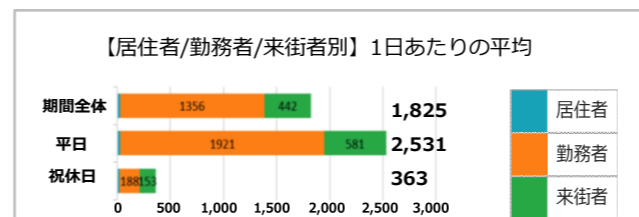
【平日通行人口（徒歩）分布図】



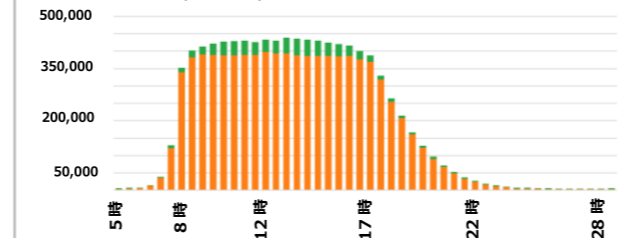
【休祝日通行人口（徒歩）分布図】



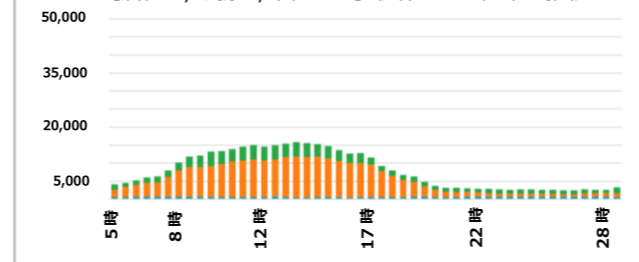
【県庁舎周辺の滞在者分析】



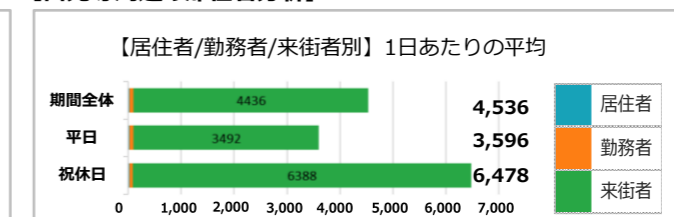
【居住者/勤務者/来街者別】平日の時間帯別推移



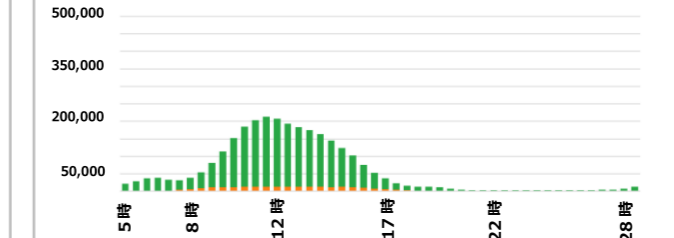
【居住者/勤務者/来街者別】祝休日の時間帯別推移



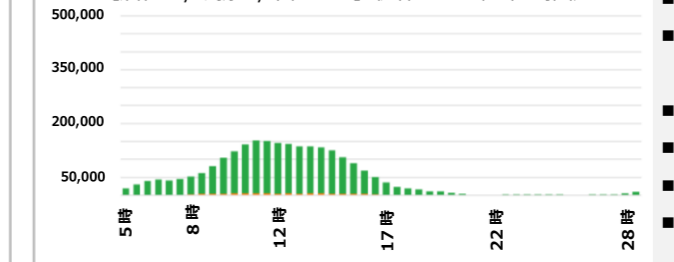
【善光寺周辺の滞在者分析】



【居住者/勤務者/来街者別】平日の時間帯別推移



【居住者/勤務者/来街者別】祝休日の時間帯別推移



出典：KDDI Location Analyzer より作成

